

国際ボランティア学会 第24回学術大会プログラム

2月18日（土）

受付開始 9:00

分科会 9:30-11:30	1. 人材、女性、子供 (1205 教室)	2. 国際ボランティア (1206 教室)
昼休み 11:30-12:30	3. 国際ボランティア学会のデジタルバッジについての討論会 (1201 教室) ブラウンバッグ・セッション	12:10 開始 4. 体験学習-気づきと学び (1206 教室) ブラウンバッグ・セッション
分科会 12:30-14:00	5. 防災・災害対応 (1205 教室)	
分科会 14:10-15:40	6. 外国ルーツの人々と共に生きる (1205 教室)	7. 共話シリーズ 2022 を振り返って (1206 教室)
共通論題セッション (公開シンポジウム) 15:50-17:50	8. つながりー助け合う社会を創る 自発的な協力と助け合いを、ネットワークと協働を通じて どのように無理なく進めていくか (講堂棟 アイタデホール)	
総会 18:00-18:40	(講堂棟 アイタデホール)	
18:45-19:45	簡単な懇親会 (大学食堂)	

ブラウンバッグ・セッション： 昼休みにかかるセッション3.およびセッション4. は昼食持ち込み方式で行います。

2月18日は大学食堂が営業をしています。また、講義室南棟を出て100mほどの場所にコンビニエンス・ストアがあります。

2月19日（日）午前中 エクスカーション

- (1) 竹の塚まちづくりラボ
- (2) 活動見学 おせっかい子育てプロジェクト

2月18日(土)午前

セッションー1 (9:30～11:30)

1205 教室

資料ページ

人材、女性、子供

座長： 山口 洋典 (立命館大学)

- 1-1 民間公益活動推進の為の人財発掘～プログラムオフィサーはどこにいるか？～ 1
宮原信孝、庄田清人 (一般財団法人 ちくごコミュニティー財団)
- 1-2 女性の貧困と自立:生活歴からみる家族との関係に着目して 2
小川未空(大阪大学)、永井悠太(Homedoor)、白波瀬達也(関西学院大学)
浦越有希(Homedoor)
- 1-3 ケアプラン作成におけるインフォーマルサービスの活用促進に関する研究 3
萩原悠人(早稲田大学)、岩垣穂大(金城学院大学)、徐桜晗(早稲田大学大学院)、
青木陽子(皆野町)、扇原 淳(早稲田大学)
- 1-4 国際ボランティア体験から子どもの居場所企画へ:沖縄県・今帰仁村での試み 5
小川寿美子、服部翼(名桜大学)、三宅裕子、宮里晃(今帰仁村)、
座間味美智枝(今帰仁ふるさとネットワーク)

セッションー2 (9:30～11:30)

1206 教室

国際ボランティア

座長： 内海成治

- 2-1 COVID-19 蔓延下の草の根的国際ボランティア活動:
沖縄県今帰仁村における「国内体験」研修 6
富田育磨、野村悠司(元 GONGOVA)、服部翼・小川寿美子(名桜大学)
謝花喜洋(今帰仁村渡喜仁区長)
- 2-2 東アフリカ難民の大学卒業後のコミュニティ形成について
～ケニアでのキャリア支援活動報告～ 8
藪田美優(近畿大学国際学部国際学科)
- 2-3 貧困世帯の金融包摂と女性のエンパワーメント:
バングラデシュにおける女性縫製労働者の事例から 9
綿貫竜史(名古屋大学大学院 国際開発研究科)
- 2-4 子どもの心理的ストレスに対する図書館活動の効果:ミャンマー帰還難民の事例から 11
三宅隆史(シャンティ国際ボランティア会)

2月18日(土) 昼休み～午後 (11:30～14:00)

(ブラウンバッグ・セッション 昼食ご持参でご参加下さい)

セッションー3 (11:30～12:30) 1201教室

討論会 座長: 山田恒夫(放送大学)

3 国際ボランティア学会のデジタルバッジについての討論会

—ボランティア学習やボランティア活動の品質保証のために— 13
山田恒夫(放送大学)、林薫(文教大学)、中村安秀(甲南女子大学)

セッションー4 (12:10～14:00) 1206 教室

体験学習 気づきと学び (実行委員会企画セッション)
座長 飛田ほのか(名桜大学4年)(4-1)
林薫(文教大学)(4-2, 4-3)

4-1 国際協力分野におけるキャリア構築においてインターンシップが与える効果とは?

大学、大学院在学中に参加するインターンシップ活動からの考察 14
飛田ほのか(名桜大学4年、空飛ぶ捜索医療団 ARROWS インターン)
吉田涼(横浜国立大学大学院)

4-2 市民性を育む体験的な学びのあり方に関する研究

—学び手の変容を促す要因の分析を通して— 15
笹野仁美(文教大学大学院)

4-3 海外体験学習の意味(コロナ禍を乗り越えて得たインドでの気づきと学び)

19
杉山日紀、百瀬恵梨奈、前田奈々絵、佐々木望亜(文教大学4年)
田力萌香(青山学院大学3年)

2月18日(土) 午後 (12:30~15:40)

セッションー5 (12:30~14:00) 1205 教室

防災・災害対応 座長 高橋真央(甲南女子大学)

- 5-1 災害ボランティアの起動スイッチ:災害救助法未適用でのお作法
横浜市中区打越地区 土砂崩れ災害を事例に 21
高田 昭彦(富士フィルムビジネスイノベーションジャパン)
- 5-2 地域とともに進める学校防災 23
伊藤 創平(太平洋学園高等学校)、町田 友里(高知県立大学大学院)、
佐々木 康介(高知県立大学大学院)、大槻 知史(高知大学地域協働学部)
- 5-3 災害時におけるボランティア活動の可能性 -'98 豪雨の経験から未来へ- 24
佐々木 康介(高知県立大学大学院)、山崎 水紀夫(さんすい防災研究所)、
佐々木 美貴(メロディ・インターナショナル株式会社)

セッションー6 (14:10~15:40) 1205 教室

外国ルーツの人々と共に生きる 座長 小川寿美子(名桜大学)

- 6-1 外国にルーツをもつ子どもの学習支援ボランティア「ふでばこ」に参加する学生、
卒業生を対象としたインタビュー調査(第1報) 25
—活動に参加した動機、活動を継続している理由—
堀江正伸(青山学院大学)、藤田優一、大坪明、藤井達矢、脇本景子、
加藤丈太郎、工藤大祐、小笠原史士、福井美苗(武庫川女子大学)
- 6-2 外国にルーツをもつ子どもの学習支援ボランティア「ふでばこ」に参加する学生、
卒業生を対象としたインタビュー調査(第2報) 26
—困難に感じること、今後の「ふでばこ」、団地住民と共に支え合って生活するには—
藤田優一、大坪明、藤井達矢、脇本景子、加藤丈太郎、工藤大祐、
小笠原史士、福井美苗(武庫川女子大学)、堀江正伸(青山学院大学)
- 6-3 在住外国人支援とその行動原理としての「地球市民主義」 27
—民間女性シェルター・女性の家 HELP の取り組みから—
百瀬圭吾(立教大学大学院)

セッションー7 (14:10～15:40) 1206 教室

共話シリーズ 2022 を振り返って(常任理事会企画セッション)

座長 中村安秀(日本 WHO 協会)

7 共話シリーズ 2022 を振り返ってー難民とレジリエンス 28

宗田勝也(総合地球環境研究所)、佐藤康介(名桜大学国際ボランティア研究会)、
中村安秀(日本 WHO 協会)

セッションー8 共通論題セッション(公開シンポジウム) 15:50-17:50 講堂棟 アイタデホール

つながり-助け合社会を創る 座長 林薫(文教大学)

8 自発的な協力と助け合いをネットワークと協働を通じてどのように実現していくか 29

開会挨拶: 中島滋 (文教大学学長)

足立区の課題・協働と協創 栗木希(足立区役所協働・協創推進課長)

子どもの貧困問題 大山光子(あだちこども支援ネット)

高齢化 大竹恵美子(綾瀬サロンほっとミックス)

防災 村岡孝次(足立区防災士の会)

2月19日(日) 午前 (9:30 頃集合～11:30 頃解散)

参加には別途登録が必要です(別途WEBサイトでご案内)

参加費無料(交通費実費各自ご負担)

参加の皆様には詳細をご連絡いたします。

9-1 竹の塚街づくりラボ (定員 10 名)

(1) 2023 年 1 月に東京都足立区とUR都市機構が立ち上げた街づくりのイニシアティブ。

(2)主な活動は次のようなもの。

、地域の声が集まる居場所としての拠点施設「ミントポ」の運営と、多世代でまちづくりを考えるワークショップ等のイベントの実施。

・ 地域の声・ニーズを踏まえたまちづくりの方向性検討。

・ 地域やまちづくりに関する情報発信。

(3)当日はラボの会合に参加予定。

9-2 活動見学 一般社団法人 おせっかい子育てプロジェクト（定員5名前後）

「どんな境遇でも負い目を感じることなく、子どもたちが未来に希望を持てる社会を創る」ことを目標に活動を行っている団体。足立区内の児童養護施設を中心に活動中。子ども居場所づくりなどにも取り組む。

- ・ワークショップやマルシェの開催。
- ・子どもたちと地域の大人たちが一緒にビジネスを学ぶ機会を提供し。様々な職業で働く大人との交流から子供たちが自分のやりたいことを見つけるための活動を実施。
- ・文教大学のサービスラーニングにご協力いただいている団体。当日はサービスラーニングで活動に参加した学生がご案内。